

令和4年度 市民と議会のつどい

市議会では、市政のさまざまな課題に柔軟に対応するため、議員と市民が情報や意見を交換できるよう、市民と議会のつどいを開催しています。

令和4年度は選挙啓発サポーターを含む市内の大学に通う大学生10人を招き、市民と議会のつどいを開催しました。

市議会本会議場での亀田議長の開会の挨拶の後、3班に分かれ、事前にお知らせしていた3つのテーマについてワークショップ形式で委員と意見交換を行い、とりまとめた意見を議場にて学生に発表していただき、質疑、委員による講評、最後に議長による総評を行いました。

各班に分かれての意見交換では、活発な意見交換がなされ、当初予定していた時間が足りなくなるなど大変盛り上がり、大学生ならではの意見や提案がなされ、大変有意義な会となりました。

開催日時 令和4年8月10日（水） 13時30分から16時30分

開催場所 市議会本会議場

意見交換会は3班に分かれ各会場で実施（第1・第2委員会室、執行部控室）

出席者 学生側：下関市立大学生6名（選挙啓発サポーター）、東亜大学生4名
議会側：議会運営委員9名

◎テーマ及び意見交換で出された主な意見

1. 10代、20代の若年層に対し、選挙の投票率を向上させる取組について

- 議員の活動を知ってもらうための情報発信（SNSの活用など）
- 投票によるインセンティブ付与（クーポンなど）
- 投票手段の選択肢を増やす（ネット投票、住民票を異動していなくても簡易に投票できるなどの規制緩和、投票所の設置場所の拡大、移動投票所など）
- 大学生を対象にした出前授業の実施
- 小さい時から選挙についての知識を教える
- 立候補者が大学で演説をする
- 市民と議会の意見交換会の場を設ける

2. 若者層に対する人口増加及び定住を促進させる取組について

- 学生割引などの料金体系を含む公共交通網の整備
- 若者への資金援助（家賃、医療、出産、教育）
- 就職支援+周知+プレゼント+長期勤務者へのインセンティブ
- 移住先、定住先として「選ばれる街へ“下関ブランドの確立”」
- 市民割引が使える商業施設の拡大
- 空き家の活用
- 観光など大都市圏へのアピール（福岡、北九州、広島）
- 起業文化の醸成（企業しやすい街に）
- 市内の高校・大学で地元説明会を行う
- 子育てがしやすい街に
- 働きやすい環境をつくる

3. 下関市を活性化する取組について

- 話題性のある街へ、集客効果のある施設や店の展開（B級グルメ、S級グルメフェス）
- 学生など多くの人を巻き込んだ大型イベントの開催
- 経済循環の活性化・経済の地産地消（下関でお金を稼ぎ、消費する仕組みの確立）
- 周遊性への取組
- 下関市の誇れるものアンケートを行い、それに基づいて地域施策を行う
- 地元の人々との連携を強化し、誇りの持てるまちづくりを行う
- 下関ツアーを行う
- インスタ映えスポットを増やす
- ロケ地や旧市街地など地域の魅力を発信する
- ドラマの舞台となった場所のスタンプラリーを行い、景品を出す
- ドラマ、アニメの撮影場所を増やし、メディアとのつながりを持たせる
- 外国人に優しい町にする
- 欧米からのクルーズ客船を拡充する

【市民と議会のつどい当日の様子】

議場に参集



亀田議長挨拶



意見交換の様子

A班



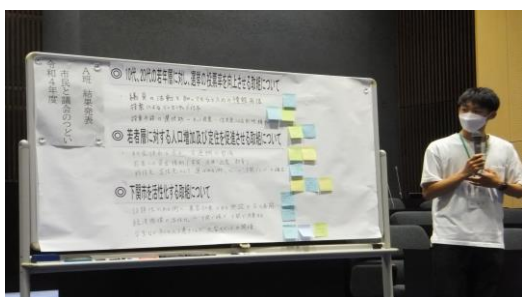
B班



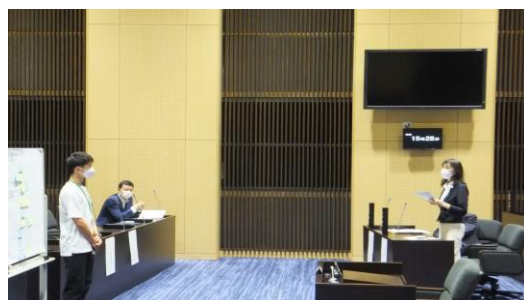
C班



議場での結果発表の様子（A班）



【学生による質疑】



【井川副議長による講評】

議場での結果発表の様子（B班）



【学生による質疑】



【福田委員による講評】

議場での結果発表の様子（C班）



【委員による質疑】



【河野副委員長による講評】

亀田議長による総評



吉田議会運営委員会委員長による閉会の挨拶



記念撮影



【A 班】



【B 班】



【C 班】

全員で記念撮影

